

# ウンカ情報第1号

平成29年6月30日  
愛知県農業総合試験場  
環境基盤研究部病害虫防除室

## 1 セジロウンカの発生状況

6月下旬の本田調査では、発生量は平年に比べやや多い状況です（表1）。また、予察灯における誘殺も、長久手市で確認されています（表2）。例年、梅雨前線が北上して、大陸から本州にかけて位置すると飛来数が増加するので、発生動向に注意してください。

表1 セジロウンカの本田調査結果（平成29年6月下旬）

調査方法	成虫	幼虫	計
粘着板による10株払い落とし	0.03 (0.03)	0.12 (0.09)	0.15 (0.13)
捕虫網による20回すくい取り	0.08 (0.25)	0.00 (0.02)	0.08 (0.28)

数値は県内 払い落とし95ほ場、すくい取り97ほ場における調査結果の平均虫数  
( )内は平年値（平成19～28年の平均）

表2 セジロウンカの予察灯における誘殺数（頭：平成29年）

月	半旬	長久手市	大口町	弥富市	東浦町	西尾市	豊川市
5月	第6半旬	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.1)
6月	第1半旬	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	第2半旬	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	第3半旬	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	第4半旬	0 (0.1)	(0.4)	0 (0.0)	(0.0)	(0.0)	0 (0.0)
	第5半旬	<b>1</b> (0.0)	(1.8)	(0.0)	(0.6)	(0.1)	0 (0.2)

( )内は平年値（平成19～28年の平均）

## 2 トビロウンカの発生状況

県内6か所の予察灯での成虫の誘殺は6月第5半旬（3か所は第3半旬）までありませんでした（平年並）が、6月下旬の本田すくい取り調査で、成虫1頭が豊田市穂積町で捕獲されました（表3）。

本田での生息確認は、平年より1か月半以上早いので、今後のほ場での発生動向には、特に注意してください。

表3 トビロウンカの本田調査結果（平成29年6月下旬）

調査方法	成虫	幼虫	計
捕虫網による20回すくい取り	<b>0.01</b> (0.00)	0 (0.00)	0.01 (0.00)

数値は県内97ほ場における調査結果の平均虫数  
( )内は平年値（平成19～28年の平均）